

## (8) 討論主題---『分離手法と分離対象の拡張』

オーガナイザ：北川慎也（名工大）・轟木堅一郎（静岡県大）

クロマトグラフィーや電気泳動を始めとする分離手法は、分析化学において欠かすことができない。本討論主題では、従来の分離手法の枠を超える新たな分離手法・分離技術の開発に加え、これまで対象とされていなかった試料の分離に関する最新の成果に関する発表を行う。クロマトグラフィーや電気泳動以外の分離手法についての発表は大歓迎であり、分離分析手法の現状や新たな展開についての討論を行う。

### 【依頼講演】

- 1) イオンモビリティ質量分析法を用いた気相イオン分離と分子構造解析への応用（東工大）本郷やよい
- 2) 細胞のキャピラリー電気泳動と DNA アプタマー選抜（埼玉大）齋藤伸吾
- 3) マイクロ流体 LC カラムの開発とカラム内試料拡散の評価（京大）内藤豊裕
- 4) クロマトグラフィーを利用した抗体医薬の血中薬物濃度分析法の開発（静岡県大）轟木堅一郎
- 5) 非水系キャピラリー電気泳動法による非水溶性合成高分子分析法の開発（名工大）北川慎也

※演題は仮題を含みます。